

## 第10回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和5年2月22日（水）午後2時より午後3時30分まで

### 協議内容

- ・2/28 令和4年度機関等代表者会議を東大阪市役所18階大会議室にて開催予定。
- ・3/4 第29回楽Caféを実施予定。参加者の症状の進行が異なるため、各々のペースで参加できる内容を企画している。
- ・3/22 第11回企画運営会議では、令和4年度第2回東大阪市認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催予定。

### 各機関の報告

#### 1 各選出機関の活動状況について

##### 【基幹型地域包括支援センター】

- ・地域包括支援センターの新しいパンフレットを作成中。新しいものには、各地域包括支援センターの所在地の地図を掲載予定。完成後は関係機関に配布できるよう準備を進めている。

##### 【地域包括支援センター】

- ・2/16 地域包括支援センター連絡調整会議を開催。重層的支援体制整備事業での支援や連携について意見交換した。地域包括支援センターでは関係機関と連携して対応している事例が多い様子であった。今後、必要に応じて重層的支援体制整備事業へ相談していきたい。

##### 【訪問看護事業者部会】

- ・令和5年度の役員への引継ぎを実施している。
- ・新型コロナウイルスの自宅療養経過観察事業は月1～2件の相談件数となっている。

##### 【通所介護通所リハビリテーション部会】

- ・報告事項なし。

##### 【介護支援専門員連絡会】

- ・3/7 ハラスメントに関する研修を実施予定。

##### 【枚岡医師会】

- ・新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが1類から5類へ移行することに伴う医療体制については未決定。かかりつけ医が中心となり在宅医療を支える方向で検討している。
- ・令和4年度中河内南河内薬事懇話会に参加。今後、地域連携薬局や専門医療機関連携薬局を配置し、在宅医療との連携を進めていくとのこと。

##### 【河内医師会】

- ・2/24 河内医師会理事会を開催予定。
- ・2/9 河内緩和ケアセミナーを開催。
- ・2/25 午後2時から令和4年度第10回多職種連携研修会全体会をハイブリッドで開催予定。テーマは「在宅現場でのフレイル、介護予防、ウィズコロナ」となっている。
- ・インフルエンザの家族間感染が増加している。
- ・新型コロナウイルスワクチンの接種者数が減少している。

##### 【布施医師会】

- ・1/28 午後2時から病診連携懇話会を開催。参加者数は、医師が37人でそれ以外が28人であった。
- ・認知症初期集中支援チーム布施へのエントリー件数は171件となっている。

#### 【市立医療センター】

・新型コロナウイルスは落ち着いてきており、入院患者は10～15人を推移している。5類への移行に関してはまだ動きはない。

#### 【社会福祉協議会】

- ・オレンジメンバー養成講座を2/21から毎週火曜日に全4回のコースを開催予定。11人の受講者を予定している。
- ・振り込め詐欺被害等防止機器は全台取り付けが終了した。迷惑防止機能付き電話機は7台の在庫が残っている。
- ・3/10～3/11に弥生祭りを開催予定。興味のある人に周知をお願いしたい。

#### 【保健所】

・『高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について』の資料を基に事業の説明と、ハイリスクアプローチの令和4年度の取り組みと、令和5年度の取り組みについて報告がある。令和4年度の取り組みについて2事例の報告があり、各事例とも本人を訪問することで課題を見つけることができ、地域包括支援センターと連携を図り、家族や本人の周囲と関わりながら必要な支援に結びつけることができた。令和4年度の事業を通して、①介護や医療ニーズのある人や不安を抱えている人を見つけることができ、②個別の課題に対し、地域の関係機関と連携をしながら支援を行うことができ、③今後、課題がある人等に対し医療・介護野連携に保健の視点を加えてQOLの向上を図ることができるということを考えることができた。令和5年度は生活習慣病重症化予防に対象者を絞り、ハイリスクアプローチを実施予定。

#### 【福祉事務所】

- ・緊急通報装置レンタル事業の更新が2月末までとなっている。

#### 【地域包括ケア推進課】

- ・『高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について』の資料を基に、ポピュレーションアプローチの令和4年度の取り組みと、令和5年度の取り組みについて報告がある。通いの場で高齢者にフレイルを知ってもらい行動変容につなげて、それを支える環境を作るとともに、要支援者を早期発見できるようにすることがこの事業のねらいである。今年度は通いの場にてフレイルチェックとフレイル予防講座を実施し、その後アンケート調査を行った。今回の事業を通して、参加者にフレイル予防を知ってもらうことができ、新型コロナウイルスで中断していた通いの場の再開につながったというケースもあった。また、通いの場から介護保険サービス等につなぐことができたケースもあった。令和5年度は通いの場でのフレイル予防講座やフレイル予防基礎講座とともに、フレイルチェック健康測定会をスーパー等で実施して東大阪市内全域に広げていきたい。
- ・2/4 楽Caféを実施。東大阪市役所で開催している展示を見たのち、感想を聞いたり意見交換を行う。参加者は本人4人、家族2人であった。
- ・2/14 認知症本人活動支援推進ワーキンググループ会議を実施。今後症状の進行が違う対象者をどのように支援するかや令和5年度の会議について意見交換した。